

## 就職氷河期世代を対象にした職場実習・体験（インターン）に参加してみませんか？

現在も不本意ながら不安定な仕事に就いているなど、さまざまな課題に直面している就職氷河期世代の方に向けて、就労体験を通じて業種・職種への理解を深めてもらうための職場実習・体験制度（以下、「インターン」）があります。

### ■インターンの概要

- おおむね35歳～56歳の方が対象です（正社員で在職中の方は除く）
- 1日3時間～希望の実習先、職種や日数に合わせて調整を行います。
- 未経験の職種に挑戦したい、続けられる職種か体験してみたい、職場の雰囲気や仕事内容を知ってから応募を決めたいという方におすすめです。
- インターン中やインターンへの移動中にけがをした場合等の保険に加入します。

※インターン終了後に、受け入れ先企業での雇用が確保されているものではありません。

### インターンの流れ

ハローワークの窓口で、希望する職業やこれまでの職歴などを伺い、実習期間や実習内容を調整します。ハローワークからインターン先の候補となる企業に受け入れの相談をします。インターン先をリストから選ぶこともできます。



企業から受け入れの承諾が得られれば、必要書類への記入などの手続きをご案内します。



インターン先では、業務に精通した社員の方が担当となり業務指導や案内をしていただきます。



インターン中に職場環境などに不安を感じた場合、労働局の担当者が電話や事業所訪問などによりフォローします。

※インターン終了後、応募につながる可能性もありますので、インターン中はご自身に向いているか向いていないかを検討するだけでなく、業務に誠実に取り組んでいきましょう。

## 参加者からの声・受入先企業からの声

以前から気になっていた事業所でしたが、未経験の職種だったので、どんな環境での仕事になるのか、職場の人間関係や雰囲気などがどうか、不安に感じていたところ、ハローワークから実習の案内を受けました。実習を通し、やっていけそうだと思え、実習先からも評価してもらえたので、応募を決心し採用につながりました。

参加者

前職を辞めハローワークに行き始めた時は、自分に合う仕事がありませんでしたが、希望の条件などを話した時に実習のことを教えてもらい、少し興味があった事業所2ヶ所に実習へ行きました。1ヶ所目は思っていたより体力的にきつく、続けていくイメージが持てませんでした。2ヶ所目の会社は職場の雰囲気もよく、仕事も丁寧に教えてくれたので続けていけそうだと思い、応募しました。面接では聞くことができない先輩社員や同僚となる人の話を聞いたことが、応募を決める後押しになりました。



受入先企業

採用しても数日以内に「仕事が合わない」と辞めてしまう人がいますので、応募の前に仕事内容や会社のことを知ってもらえる機会となり助かります。  
この仕事は未経験とのことでしたが、わからないことは勝手に判断せず、きちんと確認をとってくれました。担当社員ともコミュニケーションを取り、自ら積極的に取り組もう、学ぼうという姿勢が見られ、ぜひ求人に応募してもらいたいと思いました。

## 保険への加入

インターン中の方が一の事故に備え、インターン受入事業所・インターン対象者ともに、国負担の保険に加入していただきます（費用・手続きともに国負担）。

<b>傷害保険</b> ※インターン対象者のみ加入	インターン対象者が、受入事業所でインターン実施中およびインターン対象者の自宅と受入事業所との往復途上に偶然ケガをしたことが原因で、事故の日から180日以内に医療機関を受診し入院・通院・手術した場合および死亡・後遺障害を負った場合に補償対象となります。
<b>賠償責任保険</b>	インターン対象者が受入事業所でインターン実施中に過失により他人に損害を与え（他人にケガをさせたり、他人の所有物を損壊させた等）、これが原因で民法上の規定により法律上の損害賠償責任を負った場合に補償対象となります。（過失によりインターン受入事業所の所有物およびリース・レンタル物件を損壊させた場合を含む）

自動車・原動機付自転車等の使用・管理中に起こした事故における賠償責任等、保障の範囲外となる場合があります。補償の内容や範囲についての詳細は、労働局・ハローワークにお尋ねください。

インターン参加に関心をお持ちになりましたら  
労働局または最寄りのハローワークにご相談ください。

宮崎労働局 職業安定部 職業安定課（電話）0985-38-8823